

石原村戸長  
片山与惣治殿

西村勝三代理  
山内政良

東京府下京橋區築地壱丁目壱番地

中寫織之助  
渡邊茂三郎  
渡辺幸内  
吉田浦吉  
杉本忠七  
富沢泰造  
福寫吉兵衛  
川嶋權吉工門  
木村定八

清届合し

今般東京府下京橋區築地壱丁目壱番地西村勝三義當縣下上野國片岡郡石原村画圖面ノ場所工全村地所所有主共示談之上煉化石製造所建築仕渡有連印ヲ以テ此段御届申上候也

群馬県上野國片岡郡  
石原村  
富沢文吉  
富沢宅二郎  
吉野孫左工門

明治十八年六月二十日

②5〔伊勢勝煉化石工場関係書類綴〕

明治17(1884)年~24年

伊勢勝とは、幕末~明治時代の実業家西村勝三の通称です。西村は、寺尾村の粘土で試作した耐火煉瓦(白煉瓦)が優良であったことから、渋沢栄一を通じて耐火煉瓦の東京府への売り込みに成功しました。この結果、創業されたのが伊勢勝白煉瓦製造所(後の品川白煉瓦株式会社)です。この会社は、明治17年に石原村<sup>ひじりいし</sup>聖石に事務所を構え、史料にあるように翌年石原村中石原に煉瓦工場建設を石原村戸長の片山与惣治へ申請し、開業しています。なおこの書類綴<sup>つづり</sup>には、同工場建設から廃業に至るまでの文書が含まれています。

高崎市・片山紀道家文書 P9311 No.723

【史料②5】

お届書

今般東京府下京橋區築地壱丁目壱番地西村勝三義、当県下上野國片岡郡石原村にて、画圖面の場所へ同村地所所有主とも示談の上、煉化(瓦)石製造所建築仕り候につき、連印を以てこの段お届け申し上げ候なり

群馬県上野國片岡郡

石原村

明治十八年六月二十日

富沢文吉

富沢宅二郎

吉野孫左工門

石原村戸長  
片山与惣治殿

東京府下京橋區築地壱丁目壱番地

西村勝三代理

山内政良

印

中寫織之助  
渡邊茂三郎  
渡辺幸内  
吉田浦吉  
松本忠七  
富沢森造  
福寫吉兵衛  
川嶋權右工門  
木村定八